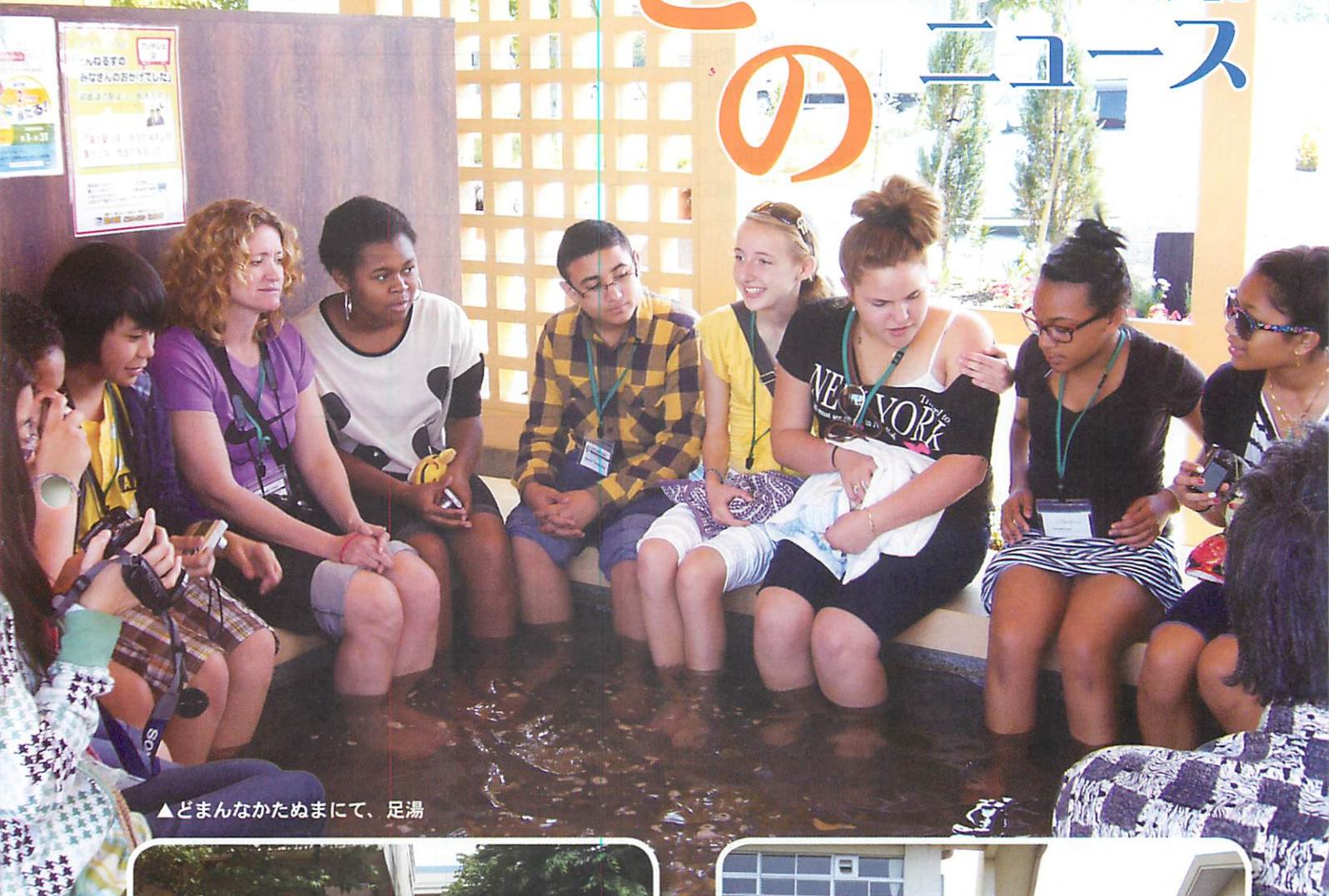


さ 国際交流 の ニュース



▲どまんなかたぬまにて、足湯



▲北中学校訪問



▲吾妻中学校訪問

Contents



第77号
2012.8.27

- 平成24年度佐野市国際交流協会定期総会…………… 2
- ランカスター市中学生ホームステイ受入れ…………… 4
- パラグアイサッカー大会・中国語サロン…………… 6
- 『SANOSHI 生活ガイド MAP』の完成・20周年記念事業等のご案内…………… 7
- 体験型講座 茶道と和服のコラボ…………… 8

平成24年6月17日(日)午後3時より、勤労者会館にて協会設立20周年記念定期総会を開催しました。

なお、本年は20周年を記念し、過去10年間で3回以上ホストファミリーを引き受けて下さった皆様に感謝状の贈呈をすると共に、総会終了後、記念パーティーを催しました。



会長あいさつ

佐野市国際交流協会
会長 遠藤 康次

会員の皆様には、日頃より協会の運営にご支援・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

昨年は、東日本大震災、それに伴う原発事故により、ランカスター市中学生受入事業は、中止になりましたが、本年は、去る5月15日から21日まで受入れ事業を実施し無事終了することができました。今回の受け入れでホストファミリーをお引き受け下さった皆様には、厚くお礼申し上げます。

また、今回、過去10年間でホストファミリーを3回以上お引き受けしていただいたご家族に、市と協会にて感謝状の贈呈をいたしました。受賞者の皆様には深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

当協会は、平成4年6月17日に設立され早20年が経過いたしました。その間、市民の皆様方の国際理解や外国人との交流を図るべく、様々な事業を展開してまいりましたが、本年は、設立20周年の節目の年を迎え、記念事業にも積極的に取り組んでまいります。

今後も、会員の方々の、積極的な活動を期待したいと思います。



平成23年度収支決算書

1 収入	13,101,222円
2 支出	10,257,125円
3 差引残高	2,844,097円

平成24年度収支予算書

1 収入	16,731,000円
2 支出	16,731,000円
3 差引残高	0円

平成24年度予算内訳【収入】

項目	予算額(円)	摘要
1 会費	1,000,000	個人会員(150名×@2,000) 法人会員(70名×@10,000)
2 委託金	2,250,000	ランカスター市中学生受入・派遣事業
3 補助金	5,909,000	事業費、運営費、人件費
4 負担金	3,898,000	ランカスター市中学生派遣事業参加者負担金
5 寄付金	50,000	フェスティバルバザー売上金、その他寄付金等
6 繰入金	750,000	菊池基金、月壇中学校交流基金
7 繰越金	2,844,000	前年度繰越金
8 雑入	30,000	フェスティバルブース代、利息等
合計	16,731,000	

平成24年度予算内訳【支出】

項目	予算額(円)	摘要
1 事業費	10,259,000	
(1) 広報事業	941,000	国際交流ニュース発行費 設立20周年記念誌発行費
(2) 姉妹都市等交流事業	6,695,000	ランカスター市受入・派遣事業 市民訪中団派遣事業
(3) 外国人との交流事業	2,096,000	国際交流フェスティバル 外国人のための交流ハイキング その他各国の人々との交流交歓事業等
(4) 研修会・語学教室等事業	527,000	会員研修費 国際理解講演会 外国人のための日本語講座等
2 事務費	5,572,000	
(1) 職員人件費	4,847,000	
(2) 事務局経費	725,000	会議費、消耗品等
3 積立金等	900,000	積立金、予備費
合計	16,731,000	

平成24年度事業計画

【事業部会】

- ・国際交流フェスティバル事業
- ・市民訪中団派遣事業

【ホームステイ部会】

- ・ランカスター市との中学生相互の交流事業

【友好交流部会】

- ・外国人のための交流ハイキング事業
- ・ニューイヤーパーティー事業

【ボランティア通訳部会】

- ・外国語講座等の開催事業
- ・外国人の困りごと相談時の通訳活動事業

【語学研修部会】

- ・外国人のための日本語講座事業

【広報部会】

- ・さの国際交流ニュースの発行事業（年間3回）
- ・協会設立20周年記念誌発行事業

..... 感謝状受賞者

10年間でホストファミリーを3回以上引き受けてくださった方々に総会の席上、佐野市長、国際交流協会長の連名で感謝状を贈呈いたしました。受賞者は、以下のとおりです。

誠にありがとうございました。

- | | |
|----------|----------|
| ・青柳よし美 様 | ・小野昌之武 様 |
| ・嘉門 和浩 様 | ・栗原 直樹 様 |
| ・後藤理都子 様 | ・小山 花波 様 |
| ・坂本 仁一 様 | ・篠原みゆき 様 |
| ・芝田 明 様 | ・清水 幸恵 様 |
| ・関 あけみ 様 | ・関根 良枝 様 |
| ・関谷 秀 様 | ・新楽 正 様 |
| ・林 幸代 様 | (50音順) |



20周年記念パーティー



総会后、会場を2階に移して、20周年記念のミニパーティーが開かれました。市内在住の外国出身の方々が手作り料理をとどけてくださり、美味しくいただきながら、話に花がさきました。



外国料理のメニュー

- ・鶏肉の生姜炒め（タイ）
- ・春巻き（中国）
- ・ミルクのフルーツマカロニサラダ（フィリピン）
- ・フリガデーロ〔生キャラメルのお菓子〕（ブラジル）
- ・エンバナダ〔ひき肉の包み揚げ〕（パラグアイ）
- ・ソパ・パラグアイジャ〔チーズのお菓子〕（パラグアイ）

ありがとうございました



ホストファミリーサポーター

篠原 一世

私のファミリーでは、娘が子供に広く社会を知ってほしいとの考えで、ホストファミリーを始めました。娘の英語は独学で学んだ様ですが、私は不得意であり、単語とジェスチャーでなんとか対応し、主に送迎やホームパーティーなどで参加しております。

最初の受け入れはマレーシアの先生で、以来、マレーシア、オーストラリア、ランカスター市と6回のホストをさせて頂きました。

特にマレーシアのカスマ先生とは現在も交流が続いており、娘、孫娘、妻はマレーシアを2回訪問させていただき、私もカスマ家の結婚式に招待されました。また、オーストラリアのリサの家にも昨年行ってきました。受け入れするたびにそれぞれの国の食習慣や生活習慣の違いなどに苦慮した事もありますが、それ以上にホストファミリーとしての満足感も得る事が出来ました。電話やメールなども時々あり、ホストファミリーをしたからこれらの体験が出来るとしております。

今回受け入れたケリー先生を見るに、生徒達の事、スケジュールなど引率する苦労も垣間見る事もありました。そして、国際交流協会を通じて外国や外国人に対する認識を深め、理解を示す人が多くなる事を期待致します。



リッキーを迎えて

岡本 博美

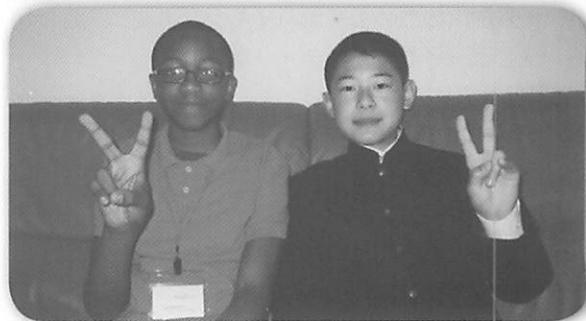
「対面式でハグ」これが私の第一目標でした。対面式当日、待ち焦がれていたリッキーが目の前に現れると、私は自然と両手を広げており、難なく第一関門を突破しました。

いよいよリッキー中心の生活が始まる、と思いきや、食事も洗濯もお風呂もいつも通り。夜もみんなと一緒に寝ました。唯一の変化は、家族みんなが早起きになったことでしょうか。

また、リッキーが来てくれたおかげで、子供の部活の友達を招いて、ホームパーティーもできました。電

子辞書が手放せない私とは違い、子供たちは片言の英語と日本語、身振り手振りを使い、笑顔で打ち解けていました。そして、リッキーを介して、子供たち同士の絆も深まったようで、うれしい限りです。

リッキーとの生活の中で、残念ながら英語は大して上達しませんでした。しかし、「相手を大切に思う心があれば、気持ちは必ず通じる」ことを、リッキーが教えてくれました。



家族

森川 容子

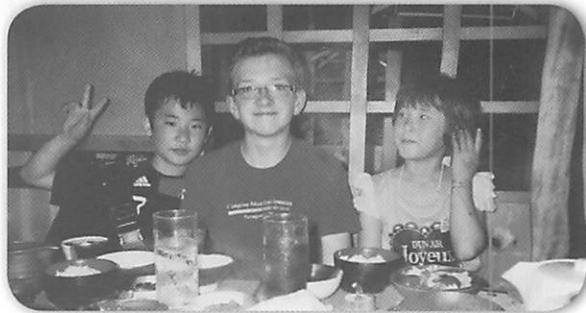
今年5回目の佐野市姉妹都市ランカスター市中学生受入れをしました。アメリカ高校教諭研修の受入れや旧田沼町オーストラリア小中学生受入れ、NPO法人による高校生留学の受入れを加えたら10人目になります。

初めて受入れをしたのは、今、小学6年生の息子が1才になる年。私は『人』『日本文化』『外国文化』が好きで、学生の時には留学生の友達がたくさんいましたから、受入れの話聞いた時は、「ぜひ、したい!!」と思ったのでした。

でも、受入れは初めて。誰かが「泊まりに来る!!」というのは一大行事です。しかも外国人!!言葉は通じるだろうか、ちゃんとホストが務まるだろうか、不安はたくさんありました。

しかし、気持ちは通じるもの。受入れた人達はいつの間にか家族になっていきました。

この人達とは、今もなお、交流しています。息子や娘、そして私と夫の大切な家族として。



ランカスター市中学生受入れスケジュールと経過

5月15日(火) 対面式 勤労者会館

予定より1便早く成田に到着していました。

5月16日(水) 市長表敬訪問 市役所南仮庁舎

生徒代表あいさつで「佐野市は緑が多く、ホストファミリーは親切でやさしい人でした。すぐ仲良しになりました。」と第一印象を述べました。

学校訪問

○北中学校 剣道体験

「防具をつけるのが大変でした。」

○吾妻中学校

「うどん作り体験おもしろかったです。」



5月17日(木) 学校訪問

各ホストファミリーの通学区の中学校を訪問しました。
 城東中(2人) 西中(3人) 南中(4人) 北中(5人)
 赤見中(1人) 田沼東中(3人) 田沼西中(3人)
 葛生中(1人) 佐日中等(1人)

平成24年度ランカスター市中学生受入れ ホストファミリー名簿 (※は引率者です)

No.	生徒・引率者名	ホストファミリー	住所
1	Abimar Almodovar	相田 昌宏	植上町
2	Jocelyn Brown	上原 真澄	吉水町
3	Brenda Valentine	太田ツヤ子	堀米町
4	Lena Ly	大塚 聡	小見町
5	Ana Mones	岡部 孝雄	堀米町
6	Ricky Pereira	岡本 博美	犬伏下町
7	Julia Snyder	落合 眞	長谷場町
8	Angelica Sokra	加藤 香織	久保町
9	Fatima Torres	石澤 聖弘	田沼町
10	Nykiria Reid	國分 静宝	葛生東
11	Hector Torres-Diaz	後藤理都子	久保町
12	Sophie Rathmell	嶋崎 誠支	並木町
13	Kiona Moses	中里 勇	高萩町
14	Peyton Thompson	野口 弘美	堀米町
15	Aleydis Torres	橋本 克代	田沼町
16	Emily Ly	藤田 直樹	大橋町
17	Maya Reinhart	茂木 文子	飛駒町
18	Isaac Janz	森川 裕貴	堀米町
19	Brittany Williams	吉田 祐三	浅沼町
20	Johnny Nguyen	渡辺 隆志	植下町
21	※ Shari DeVerter	鎌田 明子	出流原町
22	※ Deborah Konupka	毛塚 隆治	植野町
23	※ Kelly McCullough	篠原みゆき	免鳥町

5月18日(金) 東京見学

皇居→東京タワー→原宿——(メトロ)——→浅草

「原宿はかわいい洋服がたくさんありました。」
 「今度来日した時東京スカイツリーに登りたいです。」



5月19日(土) 市内見学

出流原弁天池→どまんなかたぬま→田中正造宅→
 厄除け大師・物産会館→佐野ラーメン店(絹屋)→
 郷土博物館→城山記念館

お花とお茶の日本文化体験をしました。

お花「先生の説明とお手本のお花を見て上手に出来ました。」 お茶「正座がむずかしかったです。」



5月20日(日) 各ホストファミリー計画のフリータイム フェアウェルパーティー マリアージュ仙水

ノールコールですが、ランカスターの皆さんとホストファミリーのかくし芸で楽しい交流の輪が出来ました。



5月21日(月) 帰国

田沼庁舎・勤労者会館集合出発でした。バス乗車直前、金環日食を見ることが出来ました。

★後日、佐野ケーブルTVによる受入れの放映がありました。

5月4日(金)のみどりの日に秋山川緑地サッカー場にてパラグアイの独立201年を記念し、サッカー大会が開催されました。

当日は雨上がりの悪いコンディションにもかかわらず盛大に行われました。

遠くは愛知、三重、石川、富山県、また、関東周辺の各地から多くの人が集まってきました。選手たちはグラウンドの中を所狭しとばかり駆けめぐり、家族やサポーターの大きな声援が響き渡る中、熱戦が繰り広げられました。

大会に参加されたチームの実力は、どのチームも拮抗していて1回戦から決勝戦まで白熱した試合が展開されました。

特に、高い戦術とキレのあるプレーで勝ち進んだ「愛知県名古屋Aチーム」は、決勝でも終始ボールを支配し、パスをつないで好機を生かしながら、守備でも冷静に対応した結果、優勝を勝ちとることが出来ました。また、準優勝は「コロナ神奈川」チームでした。その他、個人では最優秀選手賞にジミー・カナザワさん、最優秀ゴールキーパー賞に、ルベン・カナザワさんが選ばれました。さらに、パラグアイの豊歳直之駐日大使やピントス参事官、岡部佐野市長も来場くださり、大会に華を添えて頂きました。

大会終了後には、パラグアイの歌や楽器演奏も行われ、選手や応援の人達が持ち寄った美味しそうな料理をかこみ、久し振りに出会った友人との会話で和やかな雰囲気にも包まれた楽しい一日を過ごしました。



左から市内在住のバルガスさん、参事官、市長、大使

食文化交流・麻婆豆腐から

兵藤 美子 (陳 美琴)

7月15日、ボランティア通訳部会主催の中国語サロンが犬伏地区公民館で行われました。内容は麻婆豆腐、上海風胡瓜漬け、トマトスープを作りながらの食文化交流でした。昼食は手づくりの麻婆豆腐定食を食べ、とても楽しかったです。多忙な折り来てくださった参加者の皆様にはとても感謝しています。また、ご協力いただいた郭蕊講師をはじめとする、スタッフの皆様にも大変感謝しています。

この日、私は麻婆豆腐調理講習担当でした。以前中華料理店経営の経験がありますが、参加者の視線の中で説明しながら料理するのは初めてであり、とても緊張しました。このような経験は初めてでしたが、皆様の協力で順調に進み、試食時に「美味しい」、「麻婆豆腐はこんなに簡単にできるのか」、「今夜作ろう」など、喜びの聲が耳に入ってきました。講師の私としては大変嬉しく、最も幸福なことでした。参加者の皆様にも喜んでいただけただけで、少しではありますが中国語を使い充実した中国食文化交流になったのではないかと思います。

今後、機会があれば、ぜひまた皆様とお会いして一緒に楽しい会話、楽しい料理教室を行いたいと思います。



『SANOSHI 生活ガイド MAP』の完成

協会員がこつこつと作成をすすめてきた『SANOSHI 生活ガイド MAP』がこのほど完成しました。地図は佐野市街、旧田沼、旧葛生の中心地の、生活に欠かせない公共及び民間の施設を掲載しました。サイズは、折り畳み式A2版。外国人の居住者にも利用しやすいように日本語、ローマ字、英語、スペイン語、中国語表記の一覧付きです。地図は5,000部作成され、市役所の庁舎や窓口、公民館、外国人がよく利用する飲食店などで無料配布されます。



第20回国際交流フェスティバルの開催

【日時】10月21日(日)

午前10:30～午後4:00



【場所】佐野駅前(ばるぼーと、交流広場周辺)

【ご注目】今年も、「まちなか活性化イベント」との共同開催です。私たちのフェスティバルは、例年通り、世界の料理コーナー、ご当地B級グルメ、ペーゴマ、伝統文化のお茶・お花、和服の着付け体験、各種展示コーナーなど盛りだくさんのお楽しみがあります。交流広場ステージでは世界の音楽、踊り、パフォーマンス等のライブが上演されます。

皆様多数のご参加、ご来場をお待ちしています。



【踊りに興じる若者(昨年)】



国際理解講演会

「中国人の愛国心」と「日本人の中国観」(仮題)



講師 王 敏 (Wang Min) 法政大学教授

9月9日(日)14時開演 中央公民館3Fホール

入場 無料

王 敏先生(1954年生まれ。河北省出身)文化大革命後、国費留学生として来日。お茶の水女子大学で博士号取得。永年にわたり、日中間の文化交流分野のエキスパートとして活躍。宮沢賢治の著作を中国語に翻訳するなど、日本文化の発信に貢献する。

佐野市・衢州(くしゅう)市友好締結15周年 ——日中友好佐野市民訪中—— 世界遺産・友好都市文化交流の旅

◇期日 11月7日(水)～11月11日(日)

◇旅行代金 約11万円(空港使用料、諸税金含まず)

成田空港までの往復交通料金は協会負担

◇募集締切り 9月7日(金)(お急ぎください)

◇主催 佐野市国際交流協会

◇後援 佐野市、佐野市教育委員会

◇訪問地 ①杭州：西湖遊覧、市内観光、杭州料理、浙江省人民政府表敬訪問など。②衢



【西湖】

州：龍游石窟(世界遺産)、南宗孔廟見学、衢州市人民政府表敬訪問など。③上海：市内観光、上海料理、夜景散策など。

◇問合せ・申込み

佐野市国際交流協会

外国人のための交流ハイキング(秋)

日 時 9月23日(日)

出発午前8:30 帰着午後5:00

行 先 とちぎ海浜自然の家(茨城県鉦田市)

交 通 市のバス 北関東自動車道利用

お楽しみ 野外カレー調理 砂浜活動

参加費 大人800円(当日払い)

問合せ・申込み

佐野市国際交流協会

申込み締切 9月10日(月)

【自然の家の砂浜】



着付け体験

講師 田沼 富美子

夏到来を間近に控えた6月24日、中央公民館にたくさんのお国の方々20名にお集まりいただきました。

時節柄、ユカタ美人・美男を目指して、参加者も14人のスタッフも熱気溢れて大奮闘でした。そして各々の好みのユカタに身に包んで、茶道体験(永井先生)をしていただきました。次に、和服の文化には「季節」と「ミス・ミス」を着分けている事を十数枚の和服を展示して説明いたしました。紋付の紋についての質問もあり和服にとっても関心のあることに感謝いたしました。皆和服がお似合いで、「さくらさくら」をステージで踊り楽しみましたが、特に数人の190cmの長身の男性のなんと可愛らしかったことが…。

また機会があったらお会いしましょうと約束して、お開きとなりました。



茶道体験

講師 永井 富譽子

日本の素晴らしい文化(茶道)を世界の人々に紹介できたらと思っていた矢先の企画でした。初めての試みであったので当日が近づくにつれ、人数が集まるかな、喜んで参加してくれるかなと思うと心配になってきました。

当日、アメリカ、イギリス、韓国、中国、ベトナム国籍の方々が異文化を学びに参加してくれました。席に着いたお客にあじさいの生菓子を出したところ、目を輝かせながら掌(てのひら)に乗せ眺めたり、写真を撮ったりカタコトの言葉で「かわいい」「きれい」などとつぶやき、食べる気配がありませんでした。心のこもったお茶を出しましたが、初めての体験にもかかわらずきれいに飲み干し、「おいしかった」とお礼を言う表情には満足感が漂っていました。

これからも、日本の文化を紹介しながら出会いを大切に交流の輪を広げていきたいです。



編集後記

今年、当国際交流協会がめでたく設立20周年を迎えました。継続は力なりといいますが、先達が拓いて大きくした国際交流の輪が更に多くの外国出身者、一般市民を加えた大きな輪になりますよう、気持ちも新たに日々地道な活動を継続していきたいと思います。

さて、5月にランカスター市中学生受入れ、6月には定期総会・20周年記念パーティーを開催し、節目となる今年度が順調にスタートできましたが、この夏も酷暑に見舞われています。秋には記念事業が続きます。足りないところを補い合いながら成功裡におさめ、年末にはもう一つめでたい気持ちで新年を迎えられますよう、皆様、心一つに頑張りましょう。——としひこ 記